

こがねい 市議会だより

発行／小金井市議会 編集／議会報編集委員会
〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (042) 383-1130(直通) FAX (042) 387-1225

第178号
第4回定例会

平成12年(2000年)
2月1日発行

議員
提案員

議員の期末手当を引下げ

平成11年12月2・6月↓2・4月
平成12年3月0・5月↓0・35月
に減額



祝成人 ミレニアムにはばだけ

平成11年11月10日に第3回臨時会が開催されました。
詳しくは8頁に掲載してあります。

平成11年 第4回 定例会 日誌

- 11月30日—— 本会議 (2頁)
総務委員会
- 12月1・2日—— 本会議 (2頁)
- 3・6・7日—— 一般質問 (2～4頁)
- 9日—— 厚生文教委員会 (5頁)
- 10日—— 建設委員会 (5頁)
- 13日—— 総務委員会 (5頁)
- 14日—— 予算特別委員会 (5頁)
- 15日—— ごみ問題調査特別委員会 (5頁)
- 16日—— 行財政の改革を推進する特別委員会 (5頁)
- 17日—— 中央線・駅周辺整備調査特別委員会 (5頁)
- 20日—— 総務委員会 (5頁)
厚生文教委員会 (5頁)
決算特別委員会 (5頁)
予算特別委員会 (5頁)
- 22日—— 本会議 (6頁)

R100 この議会報は古紙配合率100%、白色度60%の再生紙を使用しています。
※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。

都市計画税率の段階的引上げ等を可決

(市税賦課徴収条例の一部改正)

平成11年第4回小金井市議会定例会(井上忠男議長)は、11月30日に開会し、12月22日に閉会しました。
今定例会では、市長から当初送付案件として「平成11年度一般会計補正予算(第5回)」、「保育料徴収条例」など議案17件が送付されました。
また、会期初日には「平成11年12月及び平成12年3月に特別職の職員に支給する期末手当に関する条例」など期末手当条例3件が、さらに12月6日に議案1件がそれぞれ追加送付され、議案すべてを可決又は同意したほか、第3回定例会で継続審査とした都市計画税率を段階的に引き上げる「市税賦課徴収条例の一部を改正する条例(以下「議案第47号」という)を原案どおり可決しました。
また議員からは、平成11年12月及び平成12年3月に小金井市議会議員に支給される期末手当を、条例本則より12月は0・2か月分を、3月は0・15か月分をそれぞれ減額するとした議員期末手当条例が提案され、可決しました。
11月30日の本会議では、閉会中の委員会で審査終了した議案第47号に対し、修正案が提出され、説明・質疑の後、修正案・原案の討論を行いました。しかし、討論終了直前に事前通告のない議員(当該議員は通告している)と主張から討論の申し出があり、議長は会議規則に従いこれを許可し、討論が行われました。この議事運営をめぐって、教人の議員から議長の見解を求める発言や議事進行上の発言がありました。討論終了後、採決を行い、修正案を可決し、原案を可決しました。
その後、市長から提出された「平成11年12月及び平成12年3月に特別職の職員に支給する期末手当に関する条例」など期末手当関係条例3件並びに議員から提出された「平成11年12月及び平成12年3月に小金井市議会議員に支給する期末手当条例」1件の計4件を審議し、可決しました。
12月1日の本会議では、収入役の選任に同意したほか、「平成11年度一般会計補正予算(第5回)」、「保育料徴収条例」などを審議し、委員会へ付託しました。
2日の本会議では、「有料自転車駐車場条例の一部を改正する条例」、「下水道条例の一部を改正する条例」などを審議し、委員会へ付託しました。
3・6・7日は一般質問を行いました。
22日の本会議では、委員会付託審査案件の委員長報告及び討論・採決を行いました。討論のあり方をめぐって意見が対立し、議案・陳情・議員案の計7件について、「討論続行の動議」と「討論続行の動議」が競合、7件とも起立採決により「討論続行の動議」を否決、「討論続行の動議」を「みなし可決」とし議事進行し、議案17件、意見書14件、決議2件を可決、請願・陳情11件を採択し閉会しました。

大地震に 備えなし66%



佐藤議員 消防署旧庁舎について、小金井の出張所が建物について市はどうかという考えでおられるか。

総務部長 東京都から防災

介護保険で、障害者施設はどうなるのですか

漢人議員 9月の府中療育センターでの石原都知事の重

介護保険の 欠陥について

野見山議員 (1) 府自公による介護保険の修正は強硬策である。介護サービス基盤の格差や低所得者の保険料対応できない矛盾が生じ、解決の見解は。(2) 1次判定と2次判定との変更率は21%もあった。コンピュータソフトの中身に問題があるのでは。(3) 基幹型を含めた在宅介護支援センターの整備を促進を。

市長 (1) 負担のこともどうも議論すべきだった。残念だが4月1日実施に向けきち々と対応したい。(2) 機能の悪さは介護量に比例しないので、そういう結果になる。厚生省は今ソフトを変える事はない。福祉保健部長 (3) 基幹型は早期設置を検討する。

福祉保健部長 (4) 社会教育関係審議会の選出を社会教育団体にお願いしないで行うなどオープンにしなさい。(4) 公民館講座など

施設という用途指定の中で無償譲渡に係る申請を行った。内容的には地震等の災害発生時に市民の生命及び財産を守るため、初期消火活動に使用される災害対策用資材置場、負傷者の応急処置のための医療品等の保管場所とする。

② 地域に残すべき100年以上の木について。 木が嫌いな人はいないと思う。是非こういう地域の環境というのは金で買えないものだと思っていま

す。一回崩れてしまつてそれを直すには何百年もかかってしまう。今後、すぐ解決できる問題ではないと思いが、市長にはこちらをお願いしたい。

市長 小金井市の自然をどう努力しなけければいけないと思つています。武蔵野で2000年までに2000本の巨木を守ろうと運動をしている。相統の関係でどうも屋敷林が守れないという状況が、非常に残念。税制上の問題も議会とともに市長会などでも機会があれば提案してま

いりたいと思います。成果を行政が活かさないか、**社会教育部長** (1) 社会教育法改正の中で考えたい。(4) 行政にフリードバックする方法を検討したい。

④ 職員の意識改革で、時差出勤を活用し週1回は7時まで庁舎をオープン 市民サービス

の向上を図るため、実施に向け検討する問題として、行政財再建推進本部の組上りに

小中学校の教育と 学校整備について



長谷川議員 (1) 再来年から地方自治体の裁量で、30人学級など少人数制が実施されようとしている。今から「30人学級」の実現に向け、検討会などをもち、準備しないか。

② 通学区の自由選択制 は多くの問題点があり、実施す

べくはでないと思うが、どうか。(3) 教職員用トイレがない学校が3校、狭隘な更衣室、全ての学校で休室がないなど、早急に改善すべきと思うが、どうか。

学校教育部長 (1) 財源の面であるが、学校の規模等によるとか、なかなか難しい。(2) 今後の検討課題と考えている。

④ 建築基準法や財政問題 などクリアしなければならず、早期に実現することは難しい。休室等は、余裕教室の活用についてなど学校側と相談の上、検討したい。

⑤ 住環境を守る対策 について、旧慶大グラウンドのマンシ

石原都政の福祉切捨てに 断固反対を

板倉議員 (1) 都から示された29事業の見直し項目のうち、小金井市の行政に影響を

与える事業は。(4) 事業の必要性をどのように考えているか。(5) 事業が下げられないようにして、財政が逼迫しているのが現状として、補助率の切り下げとかになれば、その事業が続けていきような状況に陥ってしまふ。市長会において、また部長・課長は担当のところで主張していくようにしてまいりたい。

② 平成10年度の資源物集団回収の実績は、子ども会が一回、自治会が一回、その他の団体が一回実施している。小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例 については市民の減量義務を「集団回収等の再利用率を促進するため

の自主的な活動に参加し」と奨励金を、今後引き上げていく考えは。

生活環境部長 他市の状況をみて、小金井市と同じ単価10円でやっている。できればこのままやっていきたい。

その他、「環境教育の実践」について質問しました。

yon建設についての対策はどうか。

市長 住民が多くの被害を受けることに対して、市としてきちっとした対応をしていきたい。

■その他、「地元商店への市の支援策について」を質問しました。

生ごみ堆肥化の有効性について問う

小山議員 資源循環型のまちづくりを目指し、ごみ減量リサイクルを進めていく必要があるが、(1) 庁内での啓発は(4) 市民参加での堆肥化を進めるために、建て替える緑町公園に装置の設置を考えたか。

学校給食残渣の全量を堆肥にすることで、ごみ減量リサイクルの啓発、経費削減につながると思うがどうか。

⑤ 堆肥化装置の校内設置や食教育について、学校教育 部としては、具体的にどうしていくのか。

生活環境部長 (1) 意識は高く高まっているので、本庁舎の生ごみも機械に投入できるよう調整している。(4) 必要性は大きく考えている。現在、都市基盤整備公団と協議中。(4) 学校は給食関係の事業所といえ、非常に減量につながる。

② 給食の献立や材料により、(4) 給食の献立の実績は、子ども会が一回、自治会が一回、その他の団体が一回実施している。小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例 については市民の減量義務を「集団回収等の再利用率を促進するため

の自主的な活動に参加し」と奨励金を、今後引き上げていく考えは。

生活環境部長 他市の状況をみて、小金井市と同じ単価10円でやっている。できればこのままやっていきたい。

その他、「介護保険事業の進捗状況について」を質問しました。

可決された意見書・決議(要旨)

提出先 内閣総理、自治大臣
〈起立採決結果〉
 賛成 日本共産党、民主党、市民会議、市民連合(1)、新市民派議員クラブ、市民の党、市民自治がねい、生活者ネット

商工ローン規制の強化を求める意見書
 出資法の上限金利の引下げで利息制限法との金利差の縮小、貸金業規制法強化、根保証禁止と連帯保証人の検討、脅迫的回収への法的措置など関連法改正を要請する。
提出先 内閣総理、法務、大蔵大臣
〈採決結果〉 全員賛成

シルバーバス事業の現行での存続を求める意見書
 都は、シルバーバスに一部負担を導入、全面有料化を発表したが、高齢者の外出、社会参加を閉ざしかねない。事業見直しに反対し、現行での存続を求める。
提出先 東京都知事
〈起立採決結果〉
 賛成 日本共産党、民主党、市民会議、市民連合(1)、新市民派議員クラブ、市民の党、市民自治がねい、生活者ネット

反対 自由民主党、市民クラブ
退席 自由民主党、市民連合(2)、都市政策・行革会議

老人医療費助成制度の存続と乳幼児、障害者、ひとり親家庭などの医療費助成制度を後退させないことを求める意見書
 都は、都独自の医療費助成制度に自己負担導入、所得制限強化をしようとしている。老人、乳幼児、障害者、ひとり親家庭の医療費助成制度の見直しをせず、存続するよう強く求める。
提出先 東京都知事
〈起立採決結果〉
 賛成 日本共産党、民主党、市民会議、新市民派議員クラブ、市民の党、市民自治がねい、生活者ネット
反対 市民連合(2)、自由民主党、市民クラブ、都市政策・行革会議

退席 自由民主党、市民連合(1)

調布離着陸場の管制時間と運用時間の一致を求める意見書
 調布離着陸場は、2001年3月31日に都営コミュニティ空港として供用開始が予定されている。
 1 航空管制官の業務時間と飛行場の運用時間の一致
 2 日祭日の管制開始時間は、8時30分とする。
提出先 内閣総理、運輸大臣、東京都知事
〈採決結果〉 全員賛成

調布離着陸場の管制時間と運用時間の一致を求める意見書
 調布離着陸場は、2001年3月31日に都営コミュニティ空港として供用開始が予定されている。
 1 航空管制官の業務時間と飛行場の運用時間の一致
 2 日祭日の管制開始時間は、8時30分とする。
提出先 内閣総理、運輸大臣、東京都知事
〈採決結果〉 全員賛成

提出先 内閣総理、自治大臣

生かしていますか、小金井市消費生活条例

遠藤議員 小金井市消費生活条例(以下「条例」)は、消費者契約法の実現を図るため、消費者の権利、消費者への支援を含む条
例として平成10年7月に施行されている。この条例は、中
小企業、生活指導主任が中
心となり、「友達の電話番号が
消費者被害にあわないための
力」は、「消費者被害から身
を守るための施策」は、「消費
者の観点から見た2000年間

小金井市の財政再建について

斎藤議員 歳入の問題点
について、小金井市の個人
市民税は一人当たりすると
全国で何位になるか、
企画財政部長 全国で9番
目であり、東京23区平均より
3割高い。
②人件費と職員定数につ
いて、市長及び三役の給料は多
摩27市中20位であり、議員の
報酬は21位と平均を大きく下
ではないか。

週一回は夜7時30分 まで市役所窓口の 延長オープンを



渡辺(大)議員 公務員
不信が取り巻いている中、市
民サービス向上させるため
(毎週水曜日は、夜7時30分
まで市役所窓口をオープンし
ないか(超過勤務手当が不要
な方法で。①住民票・印鑑証
明・納税証明・課税証明の自
動交付機を、武蔵小金井駅・
東小金井駅・東センター・貫

消費生活展の開催及び消費生
活相談業務の充実とパンフレ
ット、市報によるPRと対応。
②悪質な便乗商法等に対して
の相談マニュアルにより相談
員の研修の実施。③消費者保
護の立場から、消費者契約法
の早期実現と実効性のある内
容の成立を望んでいる。
④その他、「高齢者の資産管
理サービスから見えてくるもの
」と題し、成年後見制度が
制定された中でどのように取
り組むかを質問しました。

企画財政部長 (7)他市並み
となることとまだ先のことと
推定する。
市長 (4)退職職員の補充を
抑制する。(5)職員の給与を下
げて少しでも雇用の場を設け
るという考えは持っていない
少数精鋭をいきたいと思います。
③その他に再び、「コンビニ
」として市の認識や危機管理計画
の状況と地域における問題に
ついて質問しました。

井南センターに設置しないか。
企画財政部長 (7)相当効果
が上がるかと推定できるので、
検討していきたい。
市民部長 (4)両駅には、高
架事業の中で検討したい。他
は財政難から課題としたい。
②職員の見任試験を公平で
公正なものにすべきである。
③先進市や東京都を見習い筆
記試験のないB選考は廃止し
て、筆記もあるA選考に一本
化するべきだ。昨年の合格者は
A選考22名、B選考19名と枯
抗しているが、問題ではない
か。(4)本年の試験応募率は
(長野県茅野市では93%)。
市長 (7)B選考も重要視し
ていく。(4)受ける人が極端に
少なく、がっかりした。

下水道使用料値上げ に反対する

青木議員 ①下水道は健康
で文化的な都市生活にとって
最低限必要なインフラ整備で
ある。かつて市民から受益者
負担金を求めた建設費に当て
さらに「応益税」として都市
計画税も取つて、その上
に、受益者負担として使用料
を値上げするのはおかしいの
ではないか。
市長 昨年24%の値上げ提
案をし、その後値上げ率を下
方修正した。しかし、下水道
特別会計を健全化するために
は、再度の引き上げをしなけ
ればならない。

②駐輪場は、勤労者福祉と
して位置づける必要がある。
東小金井駅周辺では利用率が
低いところが複数あり、整理
統合すれば少なくとも約2
万円の維持管理費節約になる
と思われる。行政側の節約よ
り先に、市民に負担を求める
のは安易ではないか。

ボランティア社会の 構築と充実を

中根議員 ボランティア社
会構築の必要性を痛感してい
るところだが、(7)福祉ボラン
ティア、消防ボランティアの
現状はどうか。(4)ボランティ
アの掘り起こしをどのように
しているか。(7)市長の考えは
どうか。(5)教員採用ではボラ
ンティア教員も考慮すべきで
はないか。(4)もつと小中学生
にボランティア体験を。
福祉保健部長 (7)市全体の
状況はつかんでいない。社会
福祉協議会のボランティア登
録者は4千3百人だが、実際の
活動数は把握していない。
(4)社協の取組は、ボランティ
ア講座、青少年ボランティア

高齢者が安心して 老後を送られるように

森戸議員 ①介護保険につ
いての不安や関心が高まる中
で、(7)訪問看護や訪問入浴な
ど小金井市の介護保険事業計
画の目標を引き上げ、安心し
て介護を受けられるようにし
ないか。(4)申請については、
市や介護支援センターが訪問
して申請できるようにしない
か。(7)自立と認定された高齢
者について、ホームヘルプサ
ービスなどが今までどおり受
けられるようにすると同時に
ケアハウスなどの実施を早
めるために保健福祉計画の練
り直しをしないか。

②介護福祉課長 (7)計画は5
年間で90%にする設定である。
(4)直接訪問もして申請できる。
福祉保健部長 (7)1月初め
から2月に確定する。国の生
活支援事業など最大限活用し
て取り組みたい。
③財政危機を克服し、市民
生活優先の財政運営のため
旧東京三菱銀行グラントのマン
ション及び戸建ての建
設計画は、北側隣接住民等への
住環境被害が予測される
よって、市長に対し、府中市
と連携、関係住民の不安
解消、住環境を守る立場での
行政執行を求め、関係事業
者に対し、誠実な対応を指導
するよう決議する。
《採決結果》 全員賛成 (退席
小金井市議会公明党、市民連
合(1)、自由民主党、新市民派
議員クラブ、生活者ネット)

図書館の充実を

市報 参考にさせていた
く、図書館について、(7)近隣
市の図書館との相互サービス
について市報に定期的に載せ
る。図書館だよりを発行する
などしてもっと広報しないか。
(4)市内や隣接の大学図書館を
市民が利用しやすくするよう
に、大学と協議しないか。
社会教育部長 (7)四半期ご
とに1回程度は市報に掲載し
ていく。また、図書館だより
の発行を実現したい。(4)大学
に働きかけをしていきたい。

図書館サービスの充実を

市報 参考にさせていた
く、図書館について、(7)近隣
市の図書館との相互サービス
について市報に定期的に載せ
る。図書館だよりを発行する
などしてもっと広報しないか。
(4)市内や隣接の大学図書館を
市民が利用しやすくするよう
に、大学と協議しないか。
社会教育部長 (7)四半期ご
とに1回程度は市報に掲載し
ていく。また、図書館だより
の発行を実現したい。(4)大学
に働きかけをしていきたい。

②東小金井駅北口西側
生活優先の財政運営のため
旧東京三菱銀行グラントのマン
ション及び戸建ての建
設計画は、北側隣接住民等への
住環境被害が予測される
よって、市長に対し、府中市
と連携、関係住民の不安
解消、住環境を守る立場での
行政執行を求め、関係事業
者に対し、誠実な対応を指導
するよう決議する。
《採決結果》 全員賛成 (退席
小金井市議会公明党、市民連
合(1)、自由民主党、新市民派
議員クラブ、生活者ネット)

ボランティア社会の 構築と充実を

体験学習、ふれあい福祉大学
広報紙での参加呼びかけ等、
掘り起こしの中心は社協だ
とされているか。
福祉保健部長 (7)本市の教
員の人車異動の際には、御指
摘の点も含めて、今後総合的
に判断し、より豊かな資質を
持つ教員が増えるよう努め
てまいりたい。(4)平成14年
から新学習指導要領で総合的
学習時間が新設された。ボラ
ンティア活動についても教育の
一環としてとらえているので
検討されるものと考えている。
③その他の質問「介護保険」

公団家賃の値上げ見合せ並びに建て替え後の家賃に関する 意見書

都市基盤整備公団は空き家募集家賃の値上げを実施し
来年4月には継続家賃など大幅改定を予定している。
1 国民生活の現下の状況と新公団法の付帯決議の趣旨
から、継続家賃の値上げを見合せること。
2 新設高齢者世帯の家賃を低家賃に押さえること。
提出先 内閣総理・建設大臣、都市基盤整備公団総裁
《採決結果》 全員賛成

**小金井橋の文化的価値と自然環境にふさわしい設計・工
事を求める意見書**
小金井橋について、以下要請する。
1 架け替えは文化的・歴史的価値を尊重し、自然環境
に融和した設計・工事を行うこと。
2 アーチ橋を保存し、新しい橋の一部に転用。
3 遊歩道が小金井街道で分断されない対策。
提出先 東京都知事
《採決結果》 全員賛成

東小金井のひとり親家庭に対する福祉政策の充実と現状の 維持に関する意見書

ひとり親家庭への福祉施策削減に対し、以下要請する。
1 児童育成手当の支給額・所得制限の現行基準の維持。
2 ひとり親家庭児童扶助制度の現行基準の維持。
3 都電・都バス・都営地下鉄無料乗車券の制度の内容。
給付基準の現状維持。
提出先 東京都知事
《採決結果》 全員賛成

委員会の動き

(議案・請願・陳情の審議) 結果は7頁、継続した案件は8頁を参照してください。

厚文委 (20日)

厚生文教委員会(若竹綾子委員長)は、議案5件、議員案1件、請願・陳情16件の計22件を審査し、議案5件を可決、請願・陳情のうち、3件を採択、4件を不採択、1件をみなし不採択、8件を継続審査とした。なお、議員案の介護保険実施に当たっての意見書については、提案者から撤回願が提出され、22日の本会議で承認された。

厚文委 清里少年自然の家条例の一部を改正する条例
質 団体棟の宿泊料は据え置き、一般棟の宿泊料を値上げするのはなぜか。
答 団体棟は学校教育のため施設だが、一般棟は保養のため一般に利用可能。8年ぶりの改定だが、今後料金は定期的に見直したい。

保育料など値上げの議案3件を可決

約3千円万円の増収が見込まれ、延長保育一時保育・障害児保育等の子育て支援策に充てる。具体的計画は、来年度に小金井版エンゼルプランの中で策定したい。

質 増収分はテニスコートの修繕費に充てたい。
答 保育料の値上げで、増収分はテニスコートの修繕費に充てたい。

建設委 (20日)

建設委員会(中根三枝委員長)は、議案2件、請願・陳情8件の計10件を審査し、議案については、下水道使用料を改定する議案を原案可決とし、白駱車駐車場使用料を改定する議案は否決とした。また、請願・陳情については、7件を採択し、1件をみなし不採択とした。このうち府中市浅間町三丁目と小金井市前原町四丁目の市境を開発区域内に含むマンション及び

「仮称」府中浅間町計画に対する請願書及び陳情書を採択

会から、市長及び関係局に次のとおり発言を行った。本件開発に関して、地域住民からは、日照問題等住環境の悪化を危惧する声が上がっている。市長の考えはどうか。②コミュニティバス導入の調査、研究活動は、来年度から始め、基本構想の中に盛り込むべきではないか。③検討委員会は、新交通計画のような要望があったというのを審査後に報告したい。

誠意ある対応をするよう指導していたこと。3、本件について、宅地開発等指導要綱の同意をする等、新たな動きがあったときには、当該開発者に対しては、当該開発者責任ある立場の者が出席し、十分な説明を行うことにも同意する。

総務委 (20日)

総務委員会(小尾武人委員長)は、議案7件、陳情5件の計12件を審査し、議案7件を可決、陳情1件を採択、陳情1件を不採択とした。残る陳情3件を継続審査とした。市内にコミュニティバス(ミニバス)の運行を求める陳情書

コミュニティバスの運行を求める陳情書を継続審査

市役所内部のもので、調査などを含むものなのか。
答 ①小金井としてどういう交通対策ができるかを検討したい。コミュニティバス

なる。意向調査や事業調査等になると外部委託なり考えており、そのための予算措置を必要と認識している。また検討委員会は、必要と認識している。

予算委 (14・20日)

予算特別委員会(長谷川博道委員長)は、平成11年度一般会計補正予算(第5回)及び平成11年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)及び平成11年度受託水道事業特別会計補正予算(第1回)の3件の議案を審査し、いずれも原案のとおり可決とした。



予算特別委員会委員長 長谷川博道

平成11年度一般会計補正予算(第5回)について
質 議決前に予算配分説明等委託料に流用し、介護保険制度説明員訪問に関する事前はがきを送付するなど事業執行を始めたのはなぜか。
答 ①本事業のようない、介護保険利用手引書の訪問配布や説明を行う業務の委託先として、ケアサービス業界の業者を選定したのはなぜか。
質 委託先業者は、事前はがきの郵送先一覧表を渡すことにより、市の情報公開・個人情報保護審査会に付議せず、また、手渡しをしないで郵送したことは、個人情報保護条例上問題があるのではないか。
答 ①本事業は、緊急地域雇用対策事業の一つであり、本市としては、4月からの介護保険制度実施に先立ち、同制度を周知していただくことを目的として、この事業を設けた。しかし、4月の制度開始までに十分な周知効果を得るため、12月に本補正予算を議決した後では周知期間が短いと判断したため、介護保険はかなり複雑な制度なので、制度知識を持つ業者を指名競争入札で選定してしまつたこととは、逆にお詫び申し上げる。なお、委託先業者には米庁の上、秘密保持の義務及び違反への罰則適用、目的外使用の禁止、受託者以外の資料提供の禁止、複写複製の禁止、個別説明における自社宣伝及び顧客誘致行為は一切ないことを申し入れた。

個人情報の取扱いについて質疑

平成11年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)について
質 退職被保険者資格確認に要する経費、市が保有する被保険者名簿が国保連合会に集約されるわけだが、個人情報保護条例との関係は、連合会は国民健康保険法に定められた団体であり、個人情報保護審査会では審査済みである。

決算委 (20日)

決算特別委員会(中根三枝委員長)は、平成10年度一般会計歳入歳出決算、及び4つの特別会計歳入歳出決算の議案5件をいずれも継続審査とした。

ごみ特委 (15日)

ごみ問題調査特別委員会(板倉真也委員長)は、調査1件、陳情1件を審査し、調査を継続調査とし、陳情を採択とした。
ごみ減量及び終末処理対策に関する調査
調査では、三多摩地域廃棄物広域処分組合が管理する二ツ塚処分場の第2期工事予定地の未買収地の取用裁決に伴う補償金の払い渡しについて質疑が行われた。
質 ①市内の地権者数及び補償金の受領、供託等に関する陳情書。今後の計画については、民間の専門家のアイデアや住民の意見を取り入れ、多角的に検討すべきと思うが市の考えは。
答 住民の意見は取り入れたいと考えている。具体的に計画に対して、市の考えは伝えていく。

二ツ塚処分場の補償金払い渡しについて質疑

①地権者は34人。受領める二枚橋衛生組合に対して、市の考えは伝えていく。
質 再任用制度の概要についての資料提出と報告がされ、項目中の人員費比率が32・8%で、一定の推計では、平成19年度で、110人の職員削減減計画が、来年、人員費比率が34・9%まで下がることが見込め、27市平均の人員費比率は平成19年度で、21億程度削減できる。

行財政特委 (16日)

行財政の改革を推進する特別委員会(小川和彦委員長)は、調査1件を審査し、継続調査とした。
調査項目(柱)
①事務事業の見直し及び業務運営の簡素・効率化の推進について②財政の自主再建の諸方策についてを一括して審査を行った。
質 ①市の最大の課題は、人員費である。27市の平成6年度から8年度の経常

110人の新たな職員削減計画で質疑

合いを進めるといふことだが、将来に向かっての方向性はどうか。②110人を削減することによる効果は。
答 ①市の最大の課題は、人員費である。27市の平成6年度から8年度の経常

中央線・駅特委 (17日)

中央線・駅周辺整備調査特別委員会(武井正明委員長)は、調査1件を審査し、継続調査とした。
調査
JR中央線連続立体交差化
質 伴い踏切の幅を拡げる努力をしないか。
答 JR、交通管理者との話し合いの中で協議をしていきたい。

区画整理事業計画の認可申請

現状について説明をした。東小金井駅北口区画整理事業の設計の概要の認可申請を行うとのことであるが、市長は、住民合意内にも地権者の方々の訪問し



本 会 議

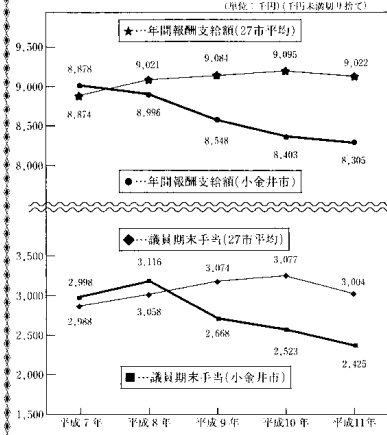
22日

22日の本会議では初めに議員案1件の撤回承認を... 了した議案17件、請願6件、陳情13件について、各委員長から報告が行われました。報告に対する質疑の後、討論採決を行った結果、下水道使用料の改定等の議案17件を原案可決とし、請願6件、陳情5件を委員会で付託しました。

報酬審議会が特別職の報酬等について答申

平成11年11月26日、特別職報酬等審議会会長から特別職の報酬等の改定について答申がありました。答申は、「萬、止むを得ざる処置として、現状のまま据え置くことが妥当である」とし、次の付帯事項3項目が付けられています。①行財政の更なる活性化により、市政が1日も早く健全な姿をとり戻せるよう努力されたい。②その努力中である実態を市報等に活用して、積極的に市民に広報すべきである。③将来も市民生活の向上に直結する有能な議員の活躍を期待するが、その為にも特別職の報酬等の改定については、充分な配慮がなされるべきである。

議員報酬等5年間の推移



反対討論(要旨)

日本共産党 森戸議員 予算に反対する最大の理由は、介護保険利用手引書配布説明等事業について、予算を流用して介護保険事業のすべての対象者の名簿を民間の「N」居宅介護事業者に渡し、委託したことである。これは小金井市個人情報保護条例に違反し、議会の審議権や議決権をおかすものであり、許されない問題である。この間予算が議決される前に、事業を進めているが、多くの高齢者から「N事業者」の不信の声が広がっている。混乱を招いた市長の責任は重大である。

賛成討論(要旨)

自由民主党 中根議員 補正予算の主なものとして計上されている第一は、東京都の「緊急地域雇用特別補助金」の有効利用である。介護関係の委託料と情報教育関係の委託料として3件あり、第二に、ビデオカメラ等備品購入費で、健康課職員が健康教育媒体コンテストで優秀賞を受けた賞金を使っている。第三は、来春入学する身障中学生への配慮で、東中学校身障者用トイレ改修等がある。市政を取り巻く財政環境は依然として厳しく、平成11年度の財政運営も大変なことは十分承知しているところだ。この補正予算も住民福祉のため最大努力して賛成する。

反対討論(要旨)

日本共産党 長谷川議員 かつて日本共産党の0・27%を0・25%に減税する条例を議員提案したことがきっかけになって、九年前から0・25%になっている経過がある。反対の第一の理由は、市民のくらしが一層厳しくなり、拒税力が低下していることでの増税であり、くらしを守る立場から納得がいかない。第二に、地価はバブル経済崩壊後、どんと下がりついでに、固定資産税、都市計画税は増税になる「逆転増税」となっている。この傾向を拡大するものである。第三に、税率引き上げで、東京都及び多摩各市や近隣市との均衡が保たれず、増税感が強まる。

賛成討論(要旨)

市民の党 青木議員 都市計画税は所得に関係なく課税額が決められる。この増税の意図は、景気が悪く市民の収入が上がらなくても取れる税金を増やすことにある。市職員住宅手当は三多摩最高額であり、電車通勤手当は、実質2割がヤミ給与になっている。保育園パート時給も、三多摩最高額になっている。無駄遣いを放置したままの増税は、許容できない。第二の理由は、3年先までの増税を決定する不当性がある。第三の理由は、都市計画税は現状、地価が下落しても税額が上がると矛盾状態にある点にある。以上のような理由から、本案に反対する。

討 論

小金井市下水道条例の一部を改正する条例

日本共産党 板倉議員 第一は、市民の暮らしが大変な中、市民に負担を求めることは暮らした一層大変なものにするため。第二は、値上げ理由に妥当性が欠けているため。汚水処理費回収率を100%にするためとして、10年度の回収率は82・8%であり、三多摩27市中、高いほうから9番目。また、小金井市の下水道は昭和44年から実施され、汚水処理費に占める資本費割合は32・1%。一方、小金井市とはほぼ同面積の国分寺市は遅れて事業に着手したこと、資本費割合は57・2%。早くから事業に着手した小金井市、下水処理費が低くても、問題はない。よって反対する。

小金井市保育料徴収条例

和田議員 小金井市の保育の普及率は19%で多摩27市(平均25%)に比べて低い。市は内部努力で用務員の非常勤化など取り組んでいるが、平成10年度の保育事業費21億円のうち、市税が60%、保護者負担が10・4%で、その負担率は27市中26番目という低い水準だ。今回は平成12年から13年の2か年で保育料を段階的に引き上げるものだが、これでも27市平均の保育料以下である。この引き上げによって、本市の課題である延長保育の全園での実施、障害児保育の拡充さらに一時保育の実施など、保育事業の拡充の一部に充当することができる。

小金井市有料自転車駐車場条例の一部を改正する条例

佐藤議員 自転車駐車場の使用料は昭和58年に制定以来、14年間も据え置きとなっている。放置自転車の増加という社会問題の解決策として、市が自転車駐車場を設置し、管理運営しているが、その財政負担が増大する傾向にあります。平成10年度決算では、人件費を除いて約6千300万円の赤字で、利用者に適正な負担を求める必要があります。さらに、利用料は近隣市より安く、相互利用を考えると、また、今回の改定では、学割導入、他市平均より低く抑えるなど評価できます。今後、一層のサービス向上と経費節減を求め、賛成する。

小金井市立清里少年自然の家条例の一部を改正する条例

若竹議員 賛成の理由は、災害現場等へのボランティア及び骨髄移植のドナー協力への体験制度が新設された点です。特にドナー体験制度は、全国の自治体でも実施率は低く、パイオニア的な時期の制定だと言え、高く評価します。このような社会参加は小金井市にとっても有益です。将来、市がボランティア受け入れをする場合も、ノウハウを持った職員がいることになる。本制度への理解を深めるため、職員への定期的な啓発を行い、より多くの方々に制度が活用されるよう、また、ドナーの対象者を親、きょうだいや、配偶者にも拡大する努力を要望し賛成討論とします。延べ26議員

賛成討論(要旨)

市民の党 斎藤議員 長谷川議員の提案は、基本生活への必要度が低い事業の経費を、利用する市民が負担することは妥当である。ただし、その対象経費と利用者負担の方針への市民の理解を得なければならない。清里山荘はそもそも学校行事への必要から建設された施設である。その分を差し引いて、一般利用者の負担する経費と使用料を算出すべき。地方分権の時代、受益者負担、使用料の適正化に際し、その事業の政策的な位置づけの確認と使用料対象経費の明確化を第一に行うべきである。他市の使用料の平均値を基準とするような提案には、今後とも賛成できない。

第4回定例会案件

議案・請願・陳情の審議結果

議案・請願・陳情名	付託委員会	説 明	○賛成 ×反対 △出席											議決結果
			会 派 名(人数) ※議長は除く											
			日本共産党	小金井市議会公明党	民主党・市民会議	市民連合	自由民主党	自民クラブ	新市民派議員クラブ	市民の党	市民自治こがねい	生活者ネット	都市政策・行革会議	
野川第二調節池の有効利用に関する陳情書	建	野川第二調節池のスポーツ広場としての活用におけるゴルフの利用推進を求めるもの	×	○	×	△	△	○	△	×	×	×	△	不採択
野川調節池の利用についての陳情書	建	特定の団体が場所や時間を占有して使えないように、また、今後の整備や利用について意見を聞く窓口を設けることを求めるもの	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	△	☆採択
「野川第二調節池の有効利用に関する陳情書」に対する認識を深めて頂くための陳情書を審議していただくための陳情書	建	「野川第二調節池の有効利用に関する陳情書」に対する認識を深めて頂くための陳情書」を市議会で審議することを求めるもの	×	○	×	△	△	○	△	×	×	×	△	不採択
小金井市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	総	平成12年度から平成14年度までの各年度分の都市計画税の税率を変更するもの	×	○	△	×	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
小金井市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例に対する修正案	即決	平成12年度分の都市計画税のみについて定め、現行税率のままとするよう修正するもの	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	☆否決
収入役の選任に関し同意を求めることについて	即決	平成11年12月31日で収入役平塚義道氏が任期満了となるため再任するもの	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	同意
小金井市立清里少年自然の家条例の一部を改正する条例	厚	市立清里少年自然の家の使用料を改定するもの	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
小金井市体育施設条例の一部を改正する条例	厚	小金井市テニスコート場の使用料を改定するもの	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
小金井市保育料徴収条例	厚	保育料の規定見直し及び地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の公布により条例を制定するもの	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
介護保険の実施に当たって、より良いものにするための請願書	厚	介護保険の実施に当たり、十分な準備と体制が実現する市に要望し、介護認定の総合的判断・介護サービスマップの設置等を求めるもの	○	×	○	○	△	×	×	○	△	○	○	☆採択
介護保険制度の準備・施行に関する陳情書	厚	介護保険実施に当たり、市の体制の整備及び国に対して意見書の提出を求めるもの	○	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	不採択
だれもが安心して介護保険を受けられるようにする陳情書	厚	介護保険実施に当たり、国に対して保険料・利用料の減免制度導入、介護サービス支給限度額の引上げ等を求める意見書の提出を求めるもの	○	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
介護保険の拡充を国に求める陳情書	厚	介護保険実施に当たり、国に対して特別養老老人ホームの入居者は現行どおり生涯、施設で生活できること等を求める意見書の提出を求めるもの	○	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
介護保険の改善を求める陳情書	厚	介護保険実施に当たり、国に対して国の負担を増額し市町村が必要な介護サービスを保障できること等を求める意見書の提出を求めるもの	○	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
小金井市有料自転車駐車場条例の一部を改正する条例	建	自転車駐車場の使用料を改定するもの	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	☆原案可決
小金井市下水道条例の一部を改正する条例	建	下水道使用料の改定と地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の公布による規定の整備を行うもの	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
東京三菱銀行ランド跡地における長谷工コーポレーションのマンション建設に当たり、近隣住民の生活環境保全を求める請願書	建	現在の計画のままでは開発許可同意を出さないように関係行政当局へ働きかけを求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆採択
小金井市職員の勤務時間、休日、体暇等に関する条例の一部を改正する条例	総	夏季休暇制度の整備及びボランティア休暇、竹藪液提供等休暇制度を新設するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆原案可決
自治体と住民に犠牲を強いる「東京都財政再建推進プラン」に反対する意見書の提出を求める陳情書	総	都に対して、「東京都財政再建推進プラン」に反対する意見書の提出を求めるもの	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	☆不採択
平成11年度東京都小金井市一般会計補正予算(第5回)	予	歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億7,202万6,000円を追加し、予算総額を314億7,367万1,000円とするもの	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	☆原案可決
保育料に関する陳情書	厚	保育料の値上げをしないことと保育料の設定に際しては公聴会等を開くことを求めるもの	みなし不採択											
小金井市公共下水道使用料の値上げに反対する陳情書	建	下水道使用料の値上げ議案の撤回、又は議会として値上げ内容の再検討を求めるもの												
自転車駐車場の定期使用料の値上げに反対する陳情書	建	自転車駐車場の定期使用料を値上げしないことと学生割引使用料をもっと下げたいことを求めるもの												
平成11年12月及び平成12年3月に特別職の職員に支給する期末手当に関する条例	即決	年間4.95月分の支給額となるよう12月は2.4月分、3月は0.35月分に減額するもの(なお、市長は更に30%減額する)	可決・採択(全員賛成)											
平成11年12月及び平成12年3月に小金井市教育委員会教育長に支給する期末手当に関する条例	即決	年間4.95月分の支給額となるよう12月は2.4月分、3月は0.35月分に減額するもの												
平成11年12月及び平成12年3月に小金井市職員に支給する期末手当及び勤続手当に関する条例	即決	年間4.95月分の支給額となるよう12月は期末手当1.8月分と勤続手当0.6月分、3月は期末手当0.35月分に減額するもの												
平成11年12月及び平成12年3月に小金井市議会の議員に支給する期末手当に関する条例	即決	年間4.95月分の支給額となるよう12月は2.4月分、3月は0.35月分に減額するもの	<p>※表中「付託委員会」「議決結果」欄の文字は次の名称の省略です。</p> <p>総：総務委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設委員会 予：予算特別委員会 ごみ特：ごみ問題調査特別委員会 即決：委員会付託を省略し、本会議で採決したもの</p> <p>可決：市長から提出された議案に対して賛成されたもの(否決は逆)</p> <p>採択：可決と同趣旨で請願や陳情に対するもの(不採択は逆)</p> <p>みなし不採択：陳情の願意と相反する議案が既に原案可決となり、議決不要となったもの</p> <p>※「議決結果」欄の☆印は、討論が行われたものを示す。</p>											
小金井市立保育園条例の一部を改正する条例	厚	保育園の開園時間を定めるもの												
小金井市高齢者住宅条例の一部を改正する条例	厚	緑町公園住宅の建て替えに伴い、新たに高齢者住宅を新設するとともに規定の整備等を行うもの												
市内全保育園での延長保育実施を望む陳情書	厚	公立保育園全園での延長保育の早急な実施と必要十分な体制をとることを求めるもの												
東京都のひとり親家庭に対する福祉政策の充実と現状の維持に関する陳情書	厚	ひとり親家庭を対象とした福祉施策の削減を行わないよう都に対し意見書の提出を求めるもの												
公団家賃の値上げ見合せ並びに建て替え後の家賃に関する請願書	建	公団家賃の値上げ計画中止及び新設高齢者住宅の住宅家賃を低家賃に設定することを求めるもの												
小金井街道拡幅により架け替えられる小金井橋の文化的価値と自然環境にふさわしい設計・工事を求める請願書	建	小金井橋架け替えに際しては、文化的・歴史的価値を尊重した設計・工事を行い、カレンのアーチ橋台を保存すること等を求めるもの												
(仮称)府中浅間町計画新築工事に関して近隣住民の住環境を守るための請願書	建	住民の納得いく結論が得られるまで宅地開発等指導要綱に基づき同意をしないこと及び都に開発の承認を見合わせることを求めるもの												
府中浅間町計画に対し宅地開発等指導要綱に基づき同意をしないための請願書	建	住民の納得いく結論が得られるまで宅地開発等指導要綱に基づき同意をしないことを求めるもの												
長谷工コーポレーションなどの(仮称)府中浅間町計画新築工事に関する陳情書	建	市が建築主に対し、生活環境・自然環境等に配慮し適切な計画となるよう行政指導すること等を求めるもの												
公聴会参加者等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	総	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の公布により規定の整備等を行うもの												

〔議案・請願・陳情の審議結果〔可決・採択(全員賛成)〕 *7頁続き〕

Table with 3 columns: Item Name, Decision, and Details. Items include tax amendments, budget adjustments, and administrative matters.

平成11年第3回臨時会

平成11年第3回臨時会は、平成11年11月10日(水)に開会し、同日閉会しました。...

閉会中の委員会日程と引き続き審査する案件

Table listing committee schedules and pending cases. Committees include the Budget Committee, Education Committee, and Construction Committee.

陳情の執行・処理結果

議会が採択した陳情を市長が願意にそって執行・処理した旨の報告がありましたので、その内容を掲載します。

▼11陳情第13号 地域の子育て支援をする「保育室」の維持・増強を求める陳情書

保育室は、小規模少人数の中、特色ある保育を行い、大きな保育園ではできない柔軟な対応をしている等、小金井市における子育て支援策の一つの役割を担っていることを充分認識する中で業務を推進

審査案件

▼小金井都市計画事業東小金井駅北口土地区画整理事業施行規程を定める条例の制定について

賛成 日本共産党、民主党、市民会議、市民自治こがねい

反対 市民連合、自由民主党、市民クラブ、新市民派、議員クラブ、都市政策・行革会議

退席 生活者ネット、東小金井駅北口区画整理事業に関する決議

特別委員会先進市を視察

特別委員会が、閉会中に先進市を次のとおり視察しました。

ごみ問題調査特別委員会 視察先及び視察項目

長野原小諸市(11月2日) 生ごみ堆肥化事業について

愛知県岡崎市(11月1日) 岡崎土地区画整理事業について

編集後記

「2000年問題」で右往左往の時を過ぎ、節目の年を迎えました。...

